



「本番」

練習は本番のように、本番は練習のように。

(2021.07.07 豪雨による引き渡し)

『風の吹き返し』（当世北条小事情）

『記録的豪雨を記憶にも』

梅雨前線の影響による豪雨で7月7日（水）は引き渡し等の緊急的な対応を行い、翌7月8日（木）は臨時休校としました。学校の周囲でも道路の冠水など、風景が一変し、大変不安な時間を過ごしました。皆様のお近く、またはお知り合いの方のところにも被害があったのではないかと思います。心よりお見舞い申し上げます。

近年、この季節の雨で日本各地に大きな被害が出ています。そのことは常に念頭に置いているつもりではありますが、最新の気象情報をもってしても予測が難しいほどの急激な変化、判断を下すために必要な要件の多さと複雑さなどいざその場になってみると本当に難しいものだと思わなくてはならないと感じているところです。結果として、保護者の皆様にもご不安な思いをさせ、ご迷惑をおかけしたと反省しております。申し訳ありませんでした。

一方で日ごろの備えの大切さも実感したところです。昨年度初めて行った引き渡し訓練は地震を想定したものでしたが、今回の大雨の際に避難場所を体育館とし、駐車場所も校地内と変更した上で、受付方法、職員の役割分担など訓練を通して準備してきたことが生きてスムーズに進んだと思っています。もちろん、迎えに来ていただいた保護者の皆様のご理解やご協力、そして今回もいざというときの子どもたちのふるまいに助けられてのものであります。感謝の気持ちがわいてきます。

後になって気が付けばこの日は七夕でした。「令和3年七夕豪雨」などと勝手に命名でもしてみましましょうか。今回のことをしっかり記憶に残しながら、きちんと振り返りをし、子どもたちの安心・安全の担保に努めてまいりますので今後ともご理解・ご協力をお願いします。

北栄ふるさとかるた紹介⑤ ～「美しく北栄いろどる豊かな自然」～



作画 鳥取中央育英生徒

【解説】

北は日本海に面し白砂青松の砂丘地、南は霊峰大山を仰ぐ黒ぼく畑の丘陵地が広がります。

夏になって、北栄をいろどる名産物が次々と旬の名乗りをあげています。そして、給食ではそれらをこれまた次々と取り入れて子どもたちに届けてくださっています。

砂丘らっきょうのピリ辛そぼろ・北条女性会さんが生産されたメロン、全国的にも有名な「大栄すいか」…確かに豊かな自然の賜物です。

しかし、一方で自然は時に荒々しく、先日の豪雨では大栄スイカなど農作物への被害も伝えられました。だからこそ、一層そのありがたみを思うのです。



北栄産のフルーツを取り入れた給食

ここに歴史あり(11) 一校門一

長雨に濡れて黒ずみが目立っていたので、校門を5年生の掃除当番と一緒に磨いてみました。長年の汚れが表面の凹凸の間にこびりついてなかなか思うようには落ちませんが、それでもやればやった分だけ、きれいになります。今日はこの部分、今日はこの面と少しずつ掃除をしているうちに、裏側？と言っていいのか目立たないところにこんな銅板がはめ込んであるのに気づきました。『明治改元百年記念』。



「明治改元百年記念」と記された銅板

すなわちこの門は明治と改元された1868年から100年たった1968年(昭和43年)に作られたものだということです。当時はそれを記念として祝う雰囲気があったのでしょうか。明治どころか昭和さえ遠くなってきた感のある令和の現在ですが、「教育の計は100年にあり」とも言われます。この門が作られてさらに100年後、2068年には6年生がちょうど今の私の年齢になる計算になります。そのころ北条小学校はどのような姿をしているのでしょうか。今がんばっていることが何かしら受け継がれているのでしょうか。それとも全く別の姿をしているのでしょうか。その時106歳を迎えている私もしっかりと見届けたいと思います。



校門を磨く5年生

先月のことになってしまいましたが、北条中学校に授業を公開していただき、小中合同の授業研究会を行いました。リモートで指導助言をいただいた鳴門教育大学の久我直人教授は授業後の講義に先立ってこう言われました。「北条の子は人なつこく、男女仲良く、明るい。声もやわらかく、先生を見る目も信頼関係が見て取れる。それは先生のあたたかいまなざしがあればこそであり、時間をかけて作られたものだと思う…。」北条中の生徒はつまりは北条小の卒業生であり、信頼関係が作られた時間の中には当然北条小での時間も含まれているはずですから、そんな風に生徒を見てくださったことを我が事として喜びました。(K)